

## S-2: 執行部提案セッション

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 13:20-14:50 講堂

### 大学執行部セッション／ URAが備えるべき能力とその認定制度について

全国で1200名を超えたURAは、大学や研究機関等の所属組織で、競争的資金の獲得、研究プロジェクトの企画・マネジメント、研究成果の活用推進などを担い、組織内での一定の評価と認知度を得るにいたっている。

一方、文部科学省の「リサーチ・アドミニストレータの質保証に資する認定制度の導入に向けた論点整理」では、URAのパフォーマンスの把握や評価の方法、適切な採用・配置のあり方、キャリアパスの構築における課題が指摘されており、これらを解決する方策の一つとして、質保証制度に関する議論が進められている。

本セッションでは、まず上記「論点整理」の内容を共有する。その後、URAを統括する大学執行部の方々にご登壇頂き、大学等の研究力強化に向けて、URAが備えるべき能力と認定制度の実装にむけて議論を行う。URA実務者などセッション参加者からの視点・意見も頂き、議論を深めていきたい。

### 講演／パネリスト

北野 允: 文部科学省 科学技術・学術政策局  
産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室 室長



2002年に文部科学省入省(文化庁芸術文化課)。生涯学習政策局参事官付専門職、スポーツ・青少年局企画・体育課企画係長、研究開発局海洋地球課地球・環境科学技術推進室室長補佐、高等教育局国立大学法人支援課専門官、滋賀県教育委員会生涯学習課長、大臣官房政策課課長補佐、初等中等教育局初等中等教育企画課課長補佐、高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室長等を経て、2019年7月から現職。

## モデレーター



高橋 真木子:  
金沢工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授

東工大、東北大、(独)理化学研究所等の在籍約20年間に、産学連携、技術移転、研究推進支援に携わる。RMAN-J設立準備委員長を担い創設より副会長を務める。NISTEP、GRIPS客員研究員、東大政策ビジョン研究センター客員研究員、中央教育審議会委員、産業構造審議会委員、JSTプログラムオーガナイザー等を兼務。専門分野 研究開発マネジメント、技術・知識移転など。東北大学大学院修了、博士(工学)

## パネリスト



木越 英夫: 筑波大学 副学長・理事(研究担当)

1984年名古屋大学大学院理学研究科博士課程後期課程中退。名古屋大学理学部助手、助教授、名古屋大学物質科学国際研究センター助教授を経て、2000年筑波大学化学系教授。2014年同学大学院数理物質科学研究科長。専門は天然物化学、ケミカルバイオロジー。



渡辺 治: 東京工業大学 理事・副学長

1982年東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程退学。1982年東京工業大学理学部助手。1987～1988年カリフォルニア大学サンタバーバラ校キー・ファン客員助教授。1989年東京工業大学工学部講師。1997年大学院情報理工学研究科教授。2016年情報理工学院教授。2018年より現職。専門分野は、理論計算機科学(計算複雑度推論,アルゴリズム論)



福田 喬: 電気通信大学 学長

1970年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、1970年電気通信大学電気通信学部助手、1990～1991年ドイツ・マックスプランク超高層物理学研究所招聘研究員、1991年助教授、1999年教授、2004～2006年国立大学法人電気通信大学理事・副学長、2006～2008年学長補佐、2008～2010年同学電気通信学部長、2010～2014年同法人理事、2014年より現職、専門分野は超高層物理学。